

烏山八景の句碑



那須烏山市指定有形文化財

この句碑は、烏山藩士大鐘新斗が願主となり、他17名の藩士や同人などの協力により安政3年（1856）8月に建立されました。現在、句碑は滝田地区の東江神社境内にあります。

元禄15年（1702）の春、烏山出身の俳人早野巴人が烏山に帰郷した際、同人と滝田村の天満宮へ奉納した俳諧額から選ばれた8句が刻まれています。

八景とは、朝日山・中川（那珂川）・比丘尼山・赤垂淵・五郎山・大沢・興野山・桜井里のことで、巴人が師匠の宝井其角や服部嵐雪、他の俳人などに烏山の名所を詠み込んだ句を依頼したと伝えられています。

ねんりんピック栃木2014俳句交流大会の開催にあたり、「烏山八景の句碑」に刻まれた8句のゆかりの場所などに、新たに句碑を建立することができました。これは、ふるさと烏山会による句碑建立事業や市民からの石材の寄贈などのご厚意やご協力により完成したものです。

多くの皆様が「烏山八景の句碑」や8基の句碑を巡られ、先人が残した足跡や地元の人々の郷土に対する愛着などを感じていただけることを願っています。

那須烏山市教育委員会

一句碑の解説

- ① 鵜乃水らぬ聲や朝日山
（鵜や水らぬ声を朝日山）
作者は宝井其角です。松尾芭蕉の弟子で、服部嵐雪と共に「蕉門十哲」の双璧を成しました。早野巴人が師事した人物の一人です。
其角
- ② 中川やほうり込んでも臘月
作者は服部嵐雪です。松尾芭蕉の弟子で、宝井其角と共に「蕉門十哲」の双璧を成しました。早野巴人が師事した人物の一人です。
嵐雪
- ③ 独活 棘爪木こる日や比丘尼山
作者は雪吟（専吟）です。小西似春門下と言われますが、経歴など是不詳です。
雪吟
- ④ 赤垂ル猿の手本しや底雲雀
（赤たれに猿の手もかな底雲雀）
作者は柳川夢風（琴風）です。摂津国出身で、其角門下と言われています。早野巴人と関係が深かった人物です。
夢風
- ⑤ 花の夢こ、路駄し五ろや万
作者は、渭水（渭北）です。半時庵と称する俳風を広めるなど、江戸俳諧の中心人物として活躍しました。
渭水
- ⑥ 大澤や入日を返すきしの声
作者は、柏十（栢十）です。其角門下と言われ、江戸俳諧で活躍した人物の一人だと思われれますが、経歴など是不詳です。
柏十
- ⑦ その原や臘の月も興野山
作者は深川湖十です。江戸深川の出身で、其角門下と言われています。後に其角座を主宰しました。
湖十
- ⑧ 水聞能水の動きや家桜
（水聞の耳の動きや家桜）
作者は早野巴人です。年少より江戸に出て宝井其角・服部嵐雪に師事し、本格的に俳諧を学びました。後に日本橋に居を構え「夜半亭」と称し、多くの門弟を指導しました。内弟子には若き与謝蕪村がおり、巴人の高潔な精神・作風に大きな影響を受けたと言われています。
巴人

※「烏山八景の句碑」に刻まれた俳句・作者名の一部について、碑建立の際に誤刻されたことが、後の研究により判明しています。しかし、今回建立した8基の句碑については、「烏山八景の句碑」の内容を尊重し、俳句・作者名ともに原文のまま刻字しています。解説中の（ ）は、誤刻前の句の原形及び作者名です。